



北中だより

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより No2
文責 芹川博文
4月19日(金)

「人数が少ない事をプラスに捉えた活動を」 ～ 就任式の時の生徒代表歓迎の言葉から伝わってきた思い ～

「見てもらうと分かる通り、私たちの学校の生徒数は少なく、小規模の学校です。そして、今年度から全学年1クラスになり、全校生徒合わせても111人となります。

しかし、人数が少ない事をプラスに捉えた活動やイベントを、生徒会を中心に頑張っています。」
就任式 生徒代表歓迎の言葉より

4月8日、私にとって北中初日の就任式、上記の生徒代表の言葉に、ハッとさせられました。できない理由を数えるのは簡単です。しかし、そこからは何も生まれません。今の北中の現状を最大限に生かしていこうとする姿。甘えや言い訳のない、自律した思いが伝わってきました。

その思いは、新入生歓迎会でも発揮されました。「部活動紹介」ならぬ「部活動ショータイム」。それぞれの部が工夫を凝らし生き生きと発表しました。(最後の1年生のお礼の言葉にも個性が光りました。)また、今年の生徒会テーマ「My color ～1人1人の色で描く北中～」が披露されました。この1年間、生徒たちはどんな挑戦をし、成長していくのか。真剣勝負で繰り広げられる北中の日々。本気で笑い、悩み、汗を流し、力を合わせて、色(個性)を出し合っていく姿。「世界に一つしかない菊池北中学校」を目指す意気込みが伝わってきた時となりました。



生徒会テーマ「My color ～1人1人の色で描く北中～」に込めた思い

北中一人一人の個性や色を生かして、世界に一つしかない「菊池北中学校」の良さを色々な人に伝えていきたい。また、周りに流されない自分自身の個性を大切に、自らの目標に向かって突き進み達成したい。

そして、一人一人の色が輝けば、北中はもっとにぎやかになり、自ら考え、意見を発表してくれる人が多くなり、磨き合い高め合う学校になると確信している。



バドミントン部秘伝?の「バックテン」



野球部による迫真?の実況プレー



ハリーポッターのワンシーンを思わせる?ランチャームでの全校給食

「欠点は魅力のひとつになる」 ～ 2018年の図書委員生徒の作品から ～

欠点は魅力のひとつになるのに
みんな隠すことばかり考える
欠点はうまく使いこなせばいい
これさえうまくいけば
何だって可能になる

ココ・シャネル(ファッションデザイナー) 1883-1971

2018 菊池北中 図書委員より



校長室のドア近くに掛けてあったカードに目が留まり、言葉の力を感じました。そして想像しました。2018年ですから6年前、その図書委員の生徒はどんな気持ちでこの文を選び、書いたのだろうか。

自分の色(個性)を出すために、時には悩むこともあるかもしれません。そんな時、左の言葉が一步を踏み出す力になることも。

6年たった今も、校長室のドア近くにかかっている意味も思いました。